

産科周産期科・婦人科

1. 診療科の概要

臨床では大きく腫瘍グループ、産科周産期グループ、不妊症グループに分かれて日常業務を行っている。手術においては当教室の伝統である腔式手術のさらなる発展というテーマで、腔式筋腫核出術や腔式広汎子宮全摘術などの術式の改良に取り組んでいる。

腫瘍グループは標準術式のみならず、広汎子宮全摘術に対する神経温存術式やロボット補助下の子宮悪性腫瘍手術などの予後の改善に加えて患者の身体的負担が少なく術後の QOL の維持を目指した術式を提供しているほか、液状検体による細胞診やヒトパピローマウイルス検査の採取法に関する研究などを行っている。

産科周産期科は当院婦人科・生殖グループ及び近郊の施設からの搬送・紹介症例に対して母体・胎児のハイリスク症例の管理を行っており、特に婦人科と協力の上で広汎性子宮頸部摘出後妊娠の管理については全国でも有数の症例数を誇っている。そのほか、全置癒着胎盤の管理や医学的適応を持った和痛分娩なども他科と連携の上で積極的に行っている。加えて、NIPT をはじめとした出生前診断外来もコロナウイルスの流行に応じて形式を工夫するなど、柔軟な対応を行っている。

不妊症グループでは従来から行われている顕微受精・受精卵凍結に加え、不育症例に対する免疫グロブリンの治験や均衡型転座や遺伝子疾患の保因カップルにおける着床前診断、妊孕性温存目的の卵巣凍結などの高度な医療を提供しており、今後症例の一段の増加が期待される。

2. 臨床研修指導医

指導責任者（科長）：齋藤 豪

指導医：婦人科 ：松浦 基樹、幅田 周太朗、秋元 太志、玉手 雅人

産科周産期科 ：石岡 伸一、馬場 剛、森下 美幸、染谷 真行、新開 翔太

3. 研修担当者

婦人科 氏名：秋元 太志 連絡先：akimotsu0622@gmail.com

産科周産期科 氏名：小川 万梨絵 連絡先：marie122linoue@yahoo.co.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻

・婦人科 ：8時50分 集合場所：南病棟6階スタッフステーション

・産科周産期科 ：8時50分 集合場所：北病棟6階スタッフステーション

（当直などの調整のため当科より事前に連絡します）

（有給休暇取得の場合は前々月25日までに上記連絡先に伝えてください）

5. 到達目標

・外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。

<ショック、体重減少・るい瘦、発疹、発熱、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、腰・背部痛、関節痛、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候>

・外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。

<正常妊娠、合併症妊娠、胎児発育不全、不妊症、不育症、子宮外妊娠、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍、子宮頸癌・子宮体癌、性感染症>

6. 研修内容

- ・ 教授の統率下に婦人科・産科周産期科それぞれ週1回の総回診を行っている。
- ・ 放射線診断科の協力のもと、週1回の術前症例検討会を行っている。
- ・ 産科周産期科は新生児科と、婦人科は放射線治療科と定期的に症例検討会を行い、治療方針の共有を週1回の研究会を行い最新の知見の紹介や貴重な症例の共有を行っている。
- ・ 産婦人科の専攻を予定しているものに関しては、積極的な学会参加を促し、最新の知見の吸収及び学術発表の機会を提供している。
- ・ 1年ごとに各グループでの治療成績の振り返りを行っている。

7. 研修医の主な業務

- ・ 病棟業務（回診、処置） ・ 外来業務（問診、診察補助） ・ 当直業務（月3～5回程度）
- ・ 手術（助手及び専攻予定のものにおいては一部術者）

8. 研修スケジュール

○ 産科周産期科 ※ 分娩や母体搬送などは適宜指導医の指示に従って対応する

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		回診	病棟管理 産科外来 不妊症外来	昼休み		出生前診断外来 帝王切開				周産期 症例 検討会		
火	術前 症例 検討会	教授 回診	病棟管理 産科外来 不妊症外来	昼休み		病棟管理 帝王切開						
水		回診	病棟管理 産科外来	昼休み		産褥健診 生殖補助手術						
木	抄 読会	回診	病棟管理 産科外来 不妊症外来	昼休み		病棟管理 帝王切開				周産期 症例 検討会		
金		回診	病棟管理 産科外来 不妊症外来	昼休み		出生前診断外来 帝王切開						

○ 婦人科

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月		回診	予診係 病棟処置	昼休み		病棟管理						
火	術前 症例 検討会	回診	予診係 病棟処置	昼休み		病棟管理 術前診察・患者説明						
水			<ul style="list-style-type: none"> ・ 一例目の手術が当たっている場合は8:30には手術室で準備をする ・ 二例目以降の手術に入る場合はそれまでの間は病棟で処置あるいは外来で予診係 ・ 担当手術が終了したら病棟での担当患者の処置あるいは翌日の検査の指示をだす 									
木	抄 読会	教授 回診	予診係 病棟処置	昼休み		病棟管理 術前診察・患者説明						
金			<ul style="list-style-type: none"> ・ 一例目の手術が当たっている場合は8:30には手術室で準備をする ・ 二例目以降の手術に入る場合はそれまでの間は病棟で処置あるいは外来で予診係 ・ 担当手術が終了したら病棟での担当患者の処置あるいは翌日の検査の指示をだす 									

9. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
斗南病院、NTT 東日本札幌病院、JCHO 札幌北辰病院、小樽協会病院、製鉄記念室蘭病院、函館五稜郭病院、市立函館病院、市立旭川病院、留萌市立病院、北見赤十字病院、帯広協会病院、市立釧路総合病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
北海道立子ども総合医療・療育センター、朋佑会札幌産科婦人科、札幌東豊病院